

NHK ドラマ「坂の上の雲」制作秘話の講演会

上原 昇（2組）

関東同窓会では会員交流イベントを定期的を開催しています。

今回は最近、再放送され、話題となっている NHK スペシャルドラマ「坂の上の雲」の制作秘話を聴く講演会に参加しました。

「坂の上の雲」は司馬遼太郎（1923-1996）原作の有名な小説ですが、NHK で 2009 年から 3 年間かけて 13 回シリーズで放映され大きな話題を呼びました。

3 月 23 日（日）14 時、都内（渋谷）で開催された講演会の講師は、元 NHK エグゼクティブ・プロデューサーで「坂の上の雲」の制作責任者の菅康弘さん（1958 年生、今治市出身、現在「坂の上の雲ミュージアム」（松山市）総館長）です。

同窓会副会長で会員交流委員会委員長の掛川治男さん(73 期)は NHK 出身で、菅さんとは一緒に仕事をした間柄とのことで実現しました。

当日は 20 度を超える暖かい日となり、渋谷駅前の雑踏をかき分け会場に集まったのは同窓生とその仲間たち 26 名で、65 期では原田義則君(3 組)、丸山暢久君(4 組)と筆者(上原)が参加しました。

以下は講演で話された主な情報を列挙紹介します。

- ・原作『坂の上の雲』は産経新聞の夕刊に 1968 年から 1972 年まで 1296 回にわたり連載されました。これまでに本は 2 千万部販売されています。
- ・司馬存命中は、映像化の許可は下りませんでした。理由は好戦的な内容だと誤解されるおそれがあること、スケールの映像化は無理ということでした。
- ・司馬没後、2001 年、福田みどり夫人から NHK に映像化の OK が出ました。
- ・ドラマは放映にいたるまで準備に 10 年、放映が 3 年という長期間かけています。



ドラマ「坂の上の雲」ポスター

- ・国内のロケは 22 都道府県にわたり、長野県では松代の文武学校跡、新潟県との県境にある小蓮華山（大日岳）で撮影が行われました。

- ・海外のロケも 12 か国で行われ、明治時代の建物や風景を再現しています。

- ・ドラマに当時する人数は、ざっと 3 千人とのこと。

今回の話を聴いて、もう一度ちゃんと再見しなくてはと思いいたりました。

(2025 年 3 月 25 日記)

以上